



**ミツミ電機株式会社**

**2011年3月期第2四半期  
決算説明会資料**

**2010年11月5日**





# 目次

2011年3月期第2四半期	P 3
2011年3月期通期予想	P11
今後の経営戦略	P16

## 【免責事項】

この資料は投資家の参考に資するため、ミツミ電機株式会社(以下、弊社)の現状を理解いただくことを目的として作成したものです。

当資料に記載された内容は、2010年11月5日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に関するご決定は、当資料に全面的に依拠することはお控えいただき、皆様ご自身のご判断でなされるようお願い申し上げます。



# 2011年3月期第2四半期

---

取締役 経理・総務・システム担当統括部長  
齋藤 求



2011年3月期第2四半期

# 決算ハイライト

- ◆アミューズメント関連製品などの受注減少
- ◆新興国向け低価格品の構成比拡大による平均価格の下落
- ◆円高による米ドル建て取引製品価格の下落
- ◆経費削減の遅れ

	2010年3月期 第2四半期		2011年3月期 第2四半期		増 減	
	金額（百万円）	売上高比（％）	金額（百万円）	売上高比（％）	金額（百万円）	％
売上高	102,684	100.0	92,742	100.0	△9,941	△9.7
営業利益	6,284	6.1	△2,422	—	△8,707	—
経常利益	5,231	5.1	△3,234	—	△8,465	—
四半期純利益	3,508	3.4	△1,923	—	△5,432	—
為替レート 対米ドル	96円12銭		89円69銭		6.43円の差	



2011年3月期第2四半期

## 製品集計区分別売上高

	2010年3月期 第2四半期		2011年3月期 第2四半期		増 減		概 要
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	%	
半導体デバイス	14,866	14.5	19,346	20.9	4,480	30.1	二次電池関連 の増加
光デバイス	5,252	5.1	6,518	7.0	1,266	24.1	携帯電話用 カメラの増加
機構部品	47,094	45.9	36,298	39.1	△10,795	△22.9	アミューズメ ント関連の減 少
高周波部品	17,085	16.6	17,162	18.5	77	0.5	数量増加と 価格下落
電源部品	14,238	13.9	10,571	11.4	△3,666	△25.8	アミューズメ ント関連の減 少
情報通信機器	4,146	4.0	2,843	3.1	△1,303	△31.4	不採算製品の 継続的撤退
売上高合計	102,684	100.0	92,742	100.0	△9,941	△9.7	



2011年3月期第2四半期

## 所在地別情報

(単位：百万円、%)

	売上高 (下段は構成比)			営業利益			概 要
	前2Q	当2Q	増減率	前2Q	当2Q	増減率	
日本	63,489 (61.8)	49,783 (53.7)	△21.6	2,644	△4,840	—	アミューズメント関連製品の受注減少
アジア	37,851 (36.9)	41,279 (44.5)	9.1	3,799	2,487	△34.5	EMS顧客(中国)の受注増加。 販売価格の下落
欧州	898 (0.9)	1,157 (1.2)	28.8	19	68	250.4	車載部品の受注回復
北米	444 (0.4)	522 (0.6)	17.4	25	63	149.7	車載部品の受注回復
消去	—	—	—	△205	△201	—	
合計	102,684	92,742	△9.7	6,284	△2,422	—	



2011年3月期第2四半期

## 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	10/3月期末 (金額) (構成比)		11/3月期 第2四半期末 (金額) (構成比)		増減金額
<b>資産の部</b>					
流動資産	156,154	77.1	154,627	76.2	△1,527
固定資産	46,415	22.9	48,222	23.8	1,806
資産合計	202,570	100.0	202,849	100.0	278
<b>負債の部</b>					
流動負債	50,235	24.8	58,151	28.7	7,916
固定負債	3,717	1.8	3,705	1.8	△12
負債合計	53,953	26.6	61,857	30.5	7,903
<b>純資産の部</b>					
株主資本	161,798	79.9	156,813	77.3	△4,985
評価・換算差額等	△13,181	△6.5	△15,820	△7.8	△2,639
純資産合計	148,617	73.4	140,992	69.5	△7,625
負債純資産合計	202,570	100.0	202,849	100.0	278
自己資本比率	73.4%	—	69.5%	—	△3.9%



2011年3月期第2四半期

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	09/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期	11/3月期 第2四半期	概 要
営業活動による キャッシュ・フロー	27,980	20,495	13,920	売上高減少による 売上債権回収
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,837	△3,621	△6,862	来期以降の事業拡大に向け 設備投資は期初計画を継続
フリーキャッシュ・フロー	20,143	16,874	7,058	
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,318	△3,680	△3,056	本業に注力。 主要なキャッシュアウトは 配当金支払い
現金及び現金同等物の 増減額	13,864	12,317	3,040	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	46,231	50,954	58,910	継続的にキャッシュは 増加



2011年3月期第2四半期

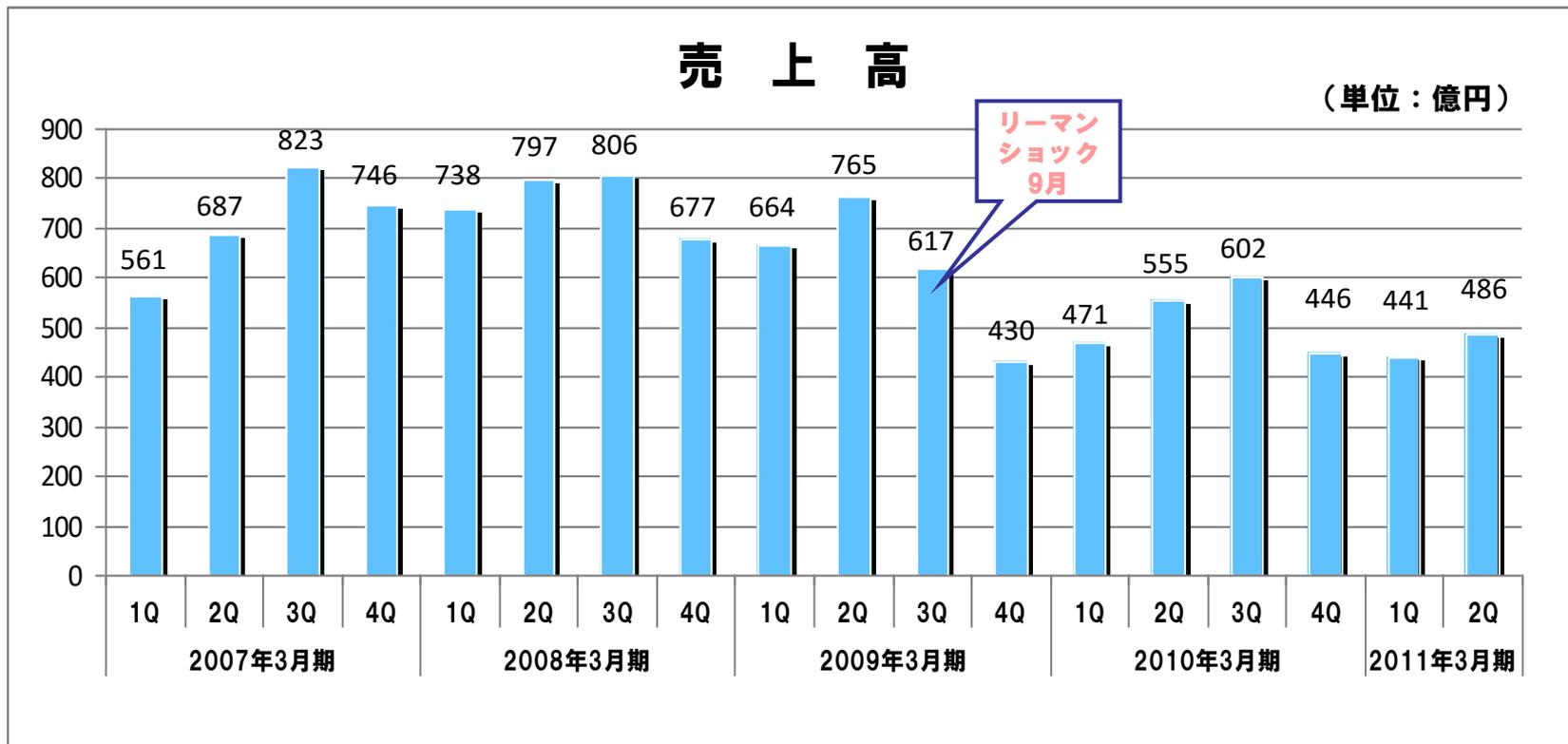
# 四半期毎売上高の推移

2011年3月期上半期の前年同期比  $\Delta$ 約99億円

◆増加：半導体デバイス（+約45億円）、光デバイス（+約13億円）

◆減少：機構部品（ $\Delta$ 約108億円）、電源部品（ $\Delta$ 約37億円）

情報通信機器（ $\Delta$ 約13億円）



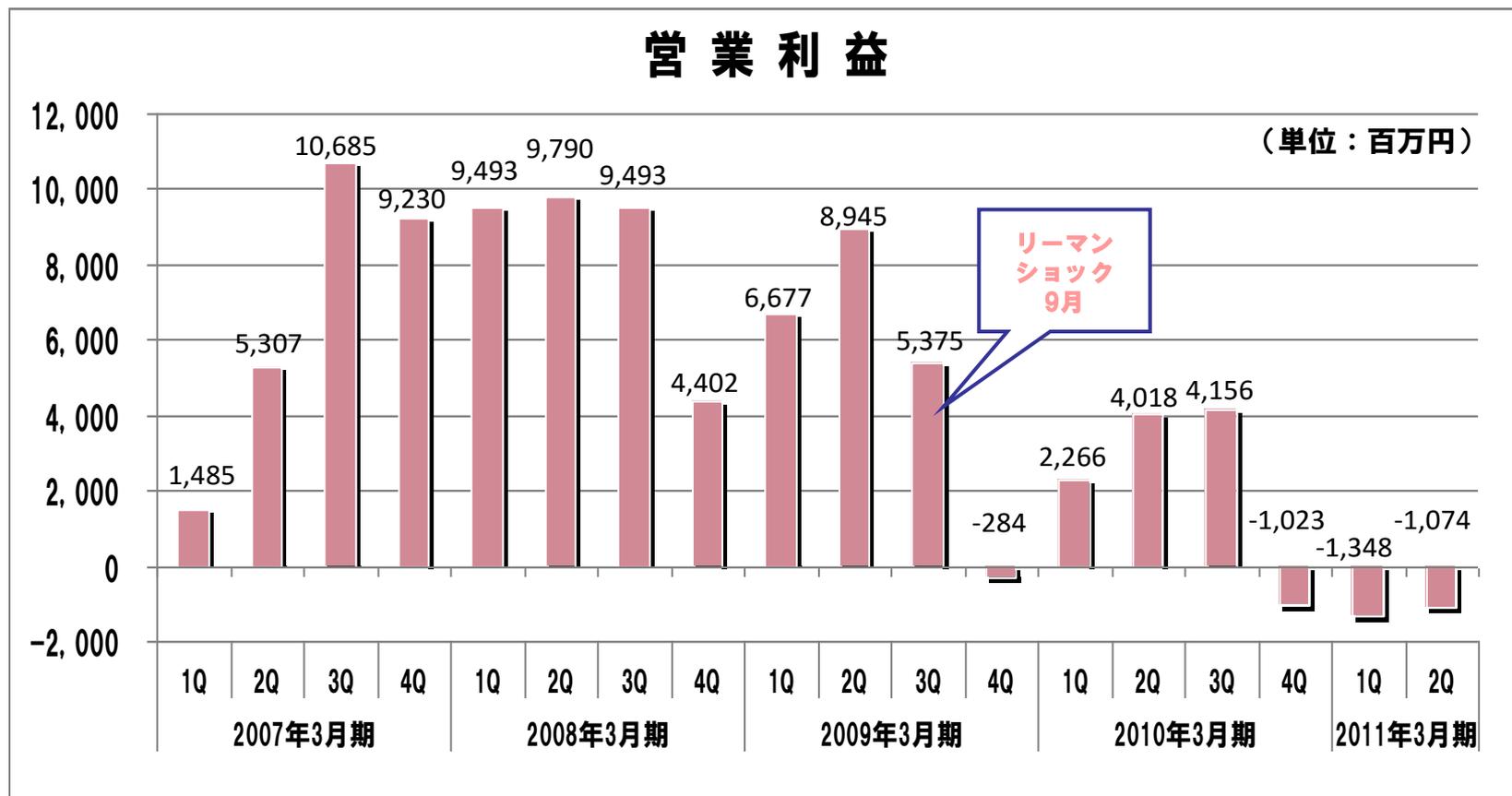


2011年3月期第2四半期

# 四半期毎営業利益の推移

2011年3月期上半期の前年同期比  $\Delta$ 約87億円

◆減少：日本（ $\Delta$ 約75億円）、アジア（ $\Delta$ 約13億円）





# 2011年3月期通期予想

---



2011年3月期通期予想

**通期業績見通し(通期比較)**

- ◆アミューズメント関連・PC関連の市場停滞
- ◆円高による販売価格の下落
- ◆アジア通貨高による、販売価格比で経費上昇

	2010年3月期 (実績)		2011年3月期 (予想)		増 減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	%
売上高	207,536	100.0	192,800	100.0	△14,736	△7.1
営業利益	9,416	4.5	△1,500	—	△10,916	—
経常利益	8,295	4.0	△2,600	—	△10,895	—
当期純利益	5,901	2.8	△1,500	—	△7,401	—
為替レート 対米ドル	93円04銭		上半期 : 89円69銭 下半期 : 82円00銭			



2011年3月期通期予想

**通期業績見通し(半期比較)**

- ◆アミューズメント関連は上半期対比で緩やかな回復
- ◆ノートPC・薄型テレビ・車載関連は横ばいで推移
- ◆ドル安、アジア通貨高により販売価格比で経費上昇

	2011年3月期上半期 (実績)		2011年3月期下半期 (予想)		増 減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	%
売上高	92,742	100.0	100,058	100.0	7,316	7.9
営業利益	△2,422	—	922	0.9	3,344	—
経常利益	△3,234	—	634	0.6	3,868	—
当期純利益	△1,923	—	423	0.4	2,346	—
為替レート 対米ドル	89円69銭		82円00銭		7.69円の差	



2011年3月期通期予想

## 設備投資・減価償却費・研究開発費

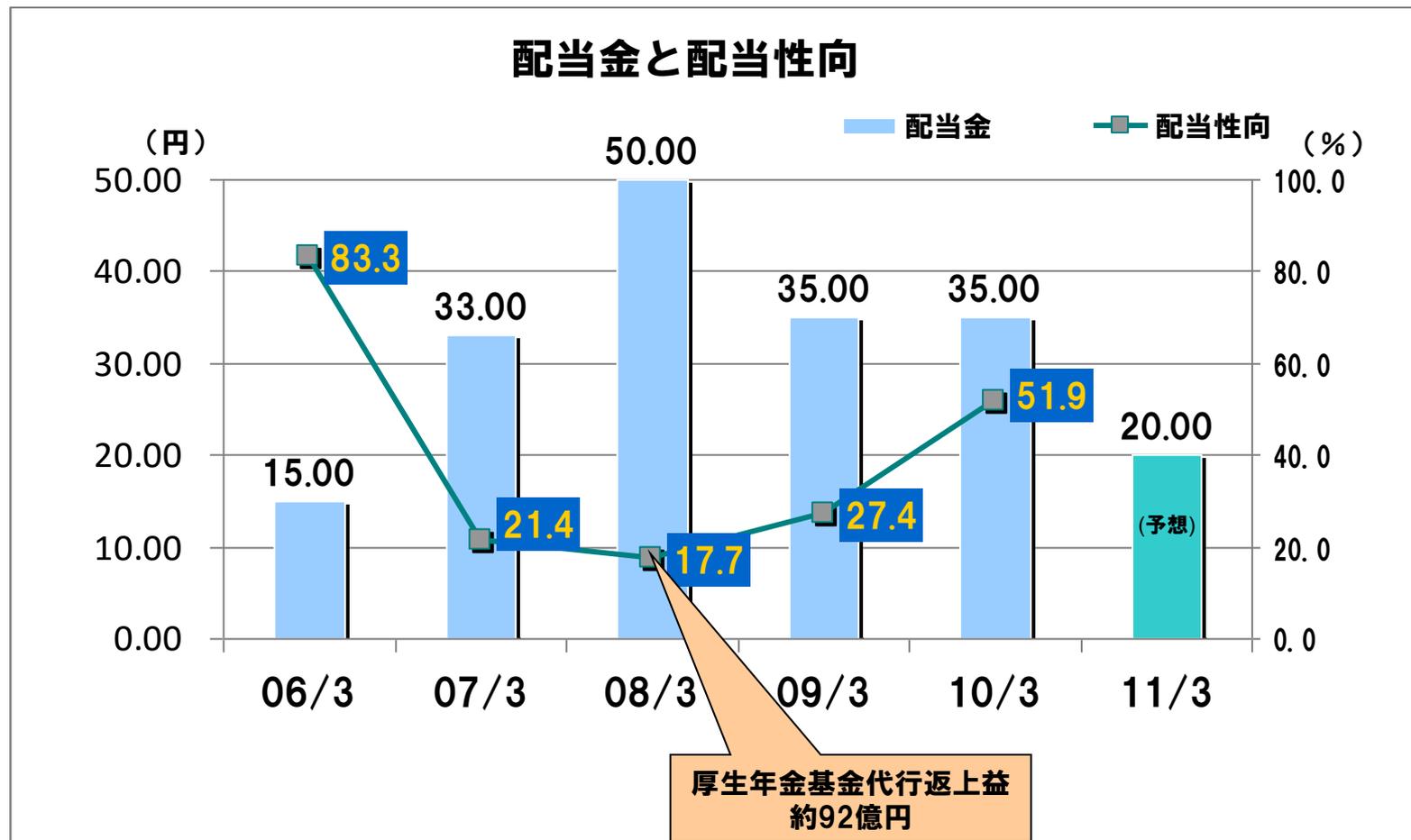
◆アミューズメント関連を中心に投資を継続

◆2012年3月期以降の新事業、新製品の創出に向けて  
研究開発費は総額を維持

	2010年3月期		2011年3月期 (予想)		増 減	
	金額(百万円) 下段上半期実績	売上高比(%)	金額(百万円) 下段上半期実績	売上高比(%)	金額(百万円)	%
設備投資	8,106 (3,067)	3.9	16,000 (8,145)	8.3	7,894	97.4
減価償却費	10,858 (5,277)	5.2	11,800 (4,983)	6.1	942	8.7
研究開発費	14,375 (7,265)	6.9	14,500 (6,777)	7.5	125	0.9



## ◆ 配当性向30%を目途とし、安定配当を目指す





# 今後の経営戦略

---

代表取締役社長  
森部 茂



## ご説明の概要

1. 事業環境
2. 目標・方針
3. 事業強化の推移（選択と集中）
4. 事業拡大の方向性
  - (1) 製品集計区分別のご説明
    - ① 半導体デバイス
    - ② 高周波部品
    - ③ 機構部品
    - ④ 光デバイス
    - ⑤ 電源部品
  - (2) 新しい事業エリアのご説明  
自動車関連
  - (3) マトリックス図
5. 生産体制
6. 販売体制
  - (1) グローバル販売体制
  - (2) 中華圏販売機能の強化



## 外部要因

- **新興国市場の拡大による低価格化の進行**
- **価格競争の激化**  
(韓国・台湾・中国資本企業の参入増加)
- **中国での事業運営コスト高騰**
- **円高・ドル独歩安**
- **各国の政策効果息切れ**



## 2. 目標・方針

### 目 標

**売上高3,000億円を回復する**

### < 方針 >

**コア技術の深掘りにより競争優位を高める  
顧客密着型の販売体制を海外で増強する**

#### ➤ 既存事業の拡大

(1) 部品事業の強化

(2) 内製部品活用によるセット・モジュール  
事業の競争力強化

#### ➤ 新規分野の取り組み強化

**車載・環境エネルギー・ヘルスケアへ注力**



## 2. 目標・方針

### 短期施策

#### 利益のV字回復を達成

##### ➤ 売上施策

- アミューズメント関連製品の受注獲得
- 既存技術による既存市場での売上増大

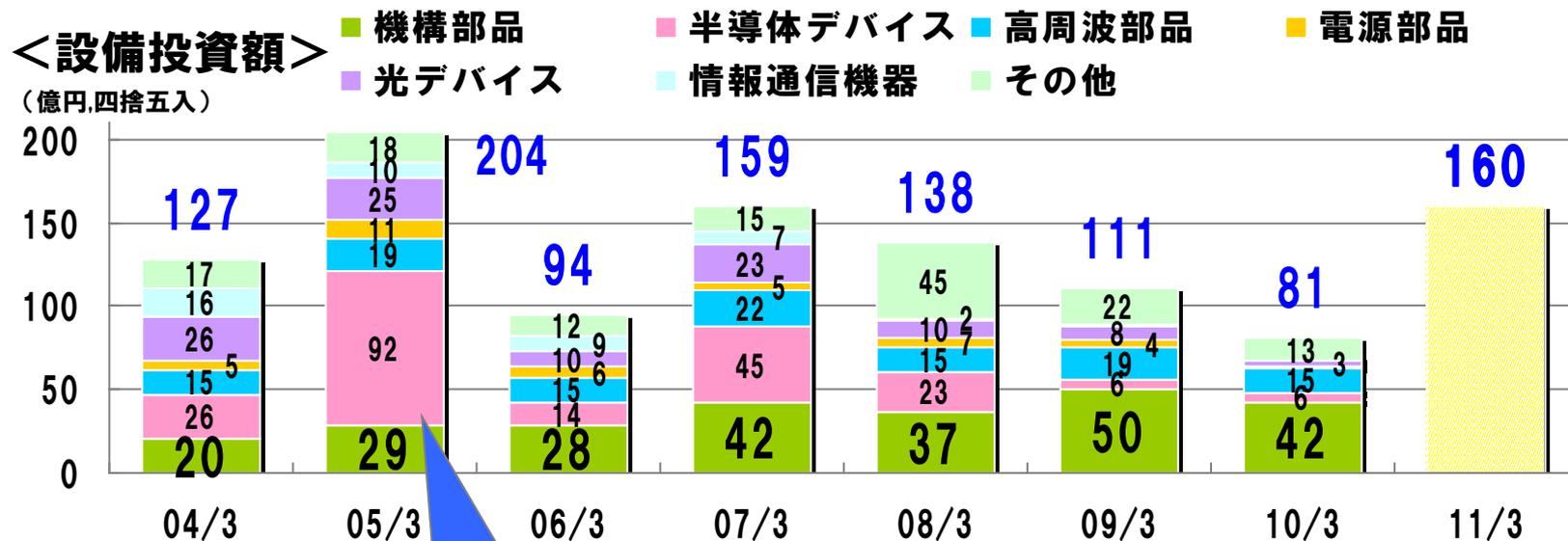
##### ➤ 原価施策

**変動費** 内製部品の採用拡大で限界利益増大を図る

**固定費** 既存人員で生産高を拡大し、固定費率低減  
設備の内製化・自動化推進でコスト圧縮



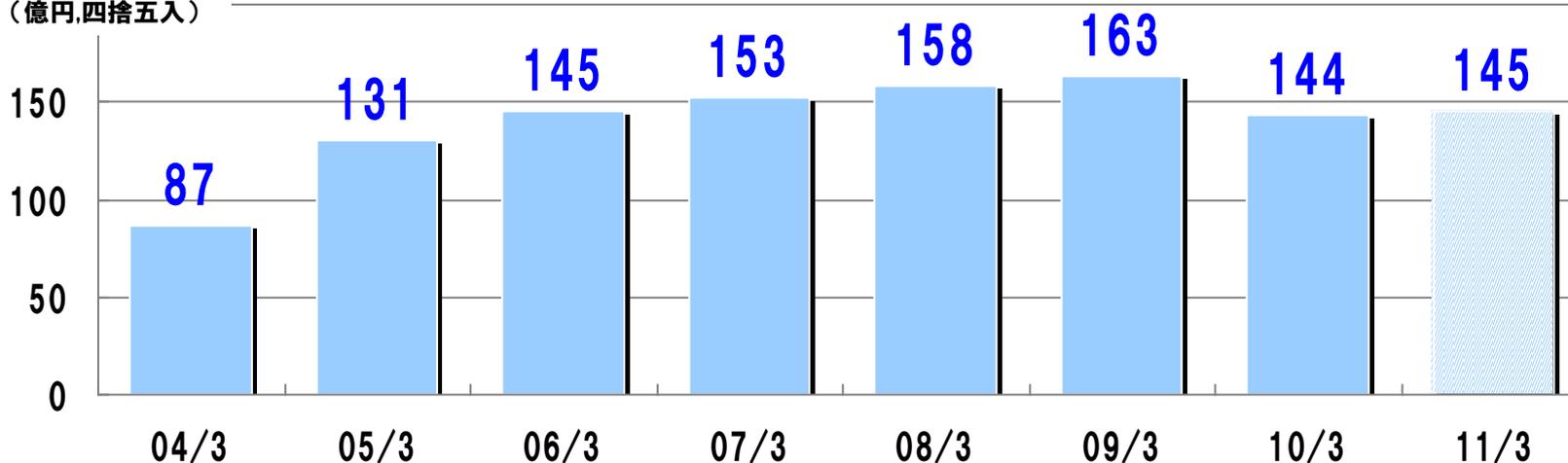
## 2. 目標・方針 設備投資額と研究開発費の推移



### <研究開発費>

(億円,四捨五入)

千歳事業所譲り受け



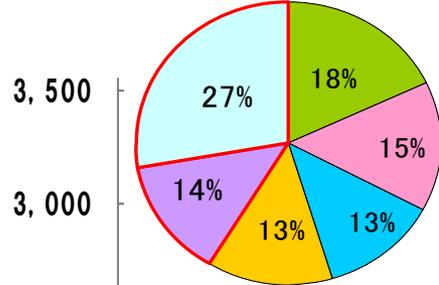


# 3. 事業強化の推移(選択と集中)

## 売上高推移

(億円)

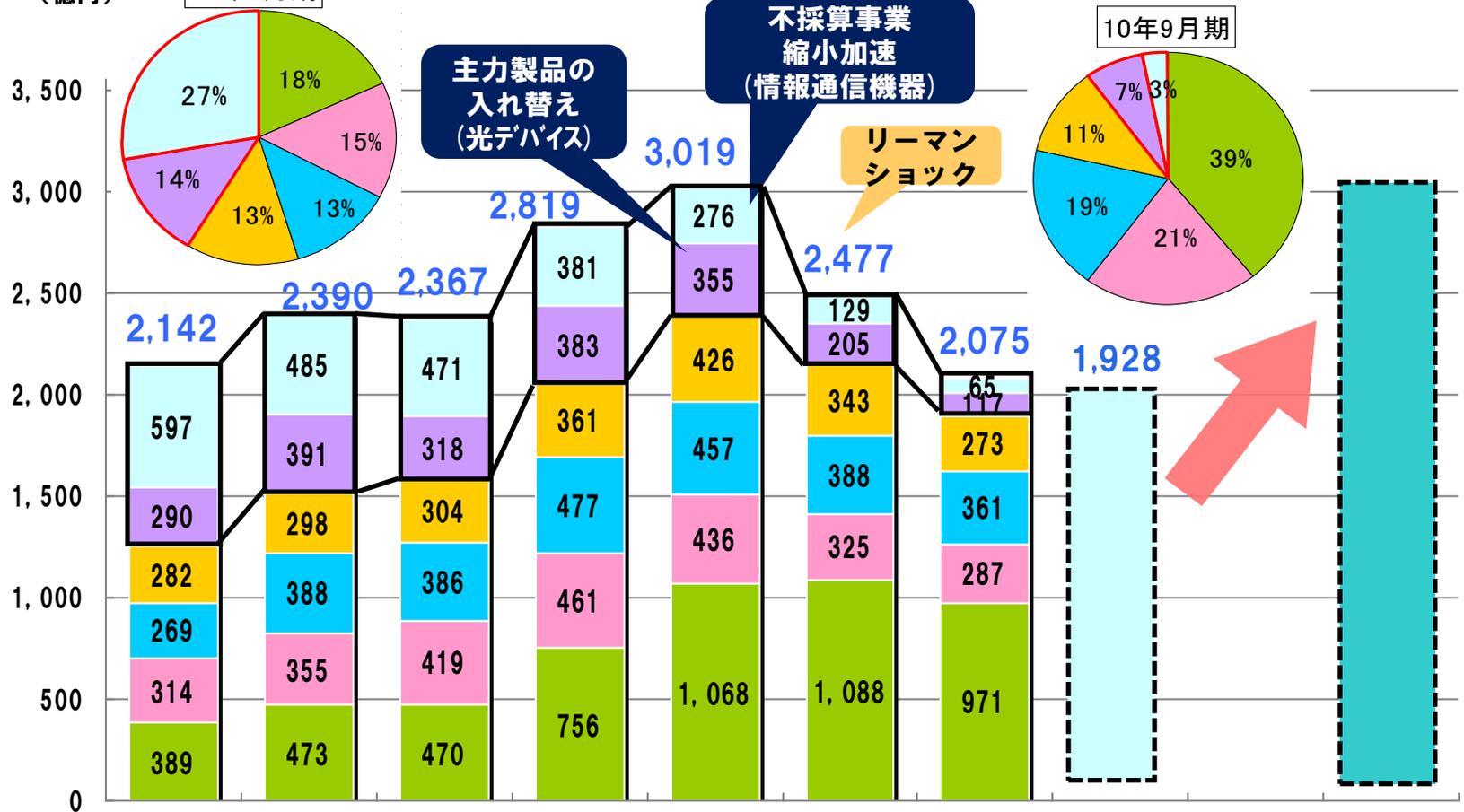
04年3月期



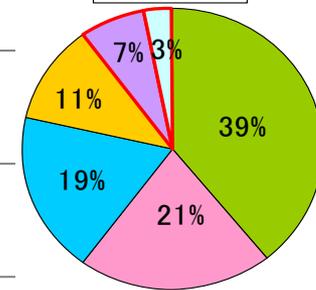
- 機構部品
- 電源部品

- 半導体デバイス
- 光デバイス

- 高周波部品
- 情報通信機器



10年9月期



主力製品の入れ替え (光デバイス)

不採算事業縮小加速 (情報通信機器)

リーマンショック

選択と集中 (不採算事業の整理)

強い事業と新規事業の拡大



今後の経営戦略

## 4. 事業拡大の方向性 ①半導体デバイス

(1)製品集計区分別  
のご説明

### アナログ半導体技術を世界トップレベルまで極める

#### 半導体製品

電源系IC、2次電池関連ICに注力

#### モジュール製品

2次電池関連モジュールを多直分野へ展開する

内製半導体の活用による競争力向上

※エリーパワー社への出資及び開発・生産のアライアンス



出典:エリーパワー社  
パワーイレ



### 無線モジュール・チューナなどに、ソフトウェア技術と 実装技術を組み合わせて事業拡大

**無線モジュール** … Bluetooth、WiFi、WiMAX(LTE)

**既存市場**：携帯機器市場

**新市場**：スマートグリッド、車載関連、家電

新市場参入に必要な技術・製品は保有している。  
現有製品を新市場に拡大する。

※ Ford社SYNC II システムへのWiFiモジュールの採用



出所：MyFord brochure

**アンテナ**

無線モジュールとの融合、車載アンテナの拡充

**セットトップボックス**

IPセットトップボックスへ注力



## 精密部品は精密加工・組立技術の強化による事業拡大

### 精密部品

・・・ スイッチ・コネクタ・コイル・アクチュエータなど

携帯機器、車載市場での事業拡大に注力

※携帯電話用カメラ向けOIS(手ぶれ補正)の製品化



## セット製品はEMSメーカーに勝る価値を顧客に提供

### セット製品

内製部品活用により性能・コストの優位性を高める



今後の経営戦略

## 4. 事業拡大の方向性 ④光デバイス

(1)製品集計区分別  
のご説明

高画素、小型化などの高付加価値製品で事業拡大

### カメラモジュール

携帯機器に加えて、車載用カメラの市場に参入



## 4. 事業拡大の方向性 ⑤電源部品

エネルギー効率を最大限に高めた製品を市場投入

### ACアダプタ

国内携帯電話市場でトップシェアを堅持  
海外携帯電話市場へ参入

※LED照明用電源の製品ラインアップ拡充



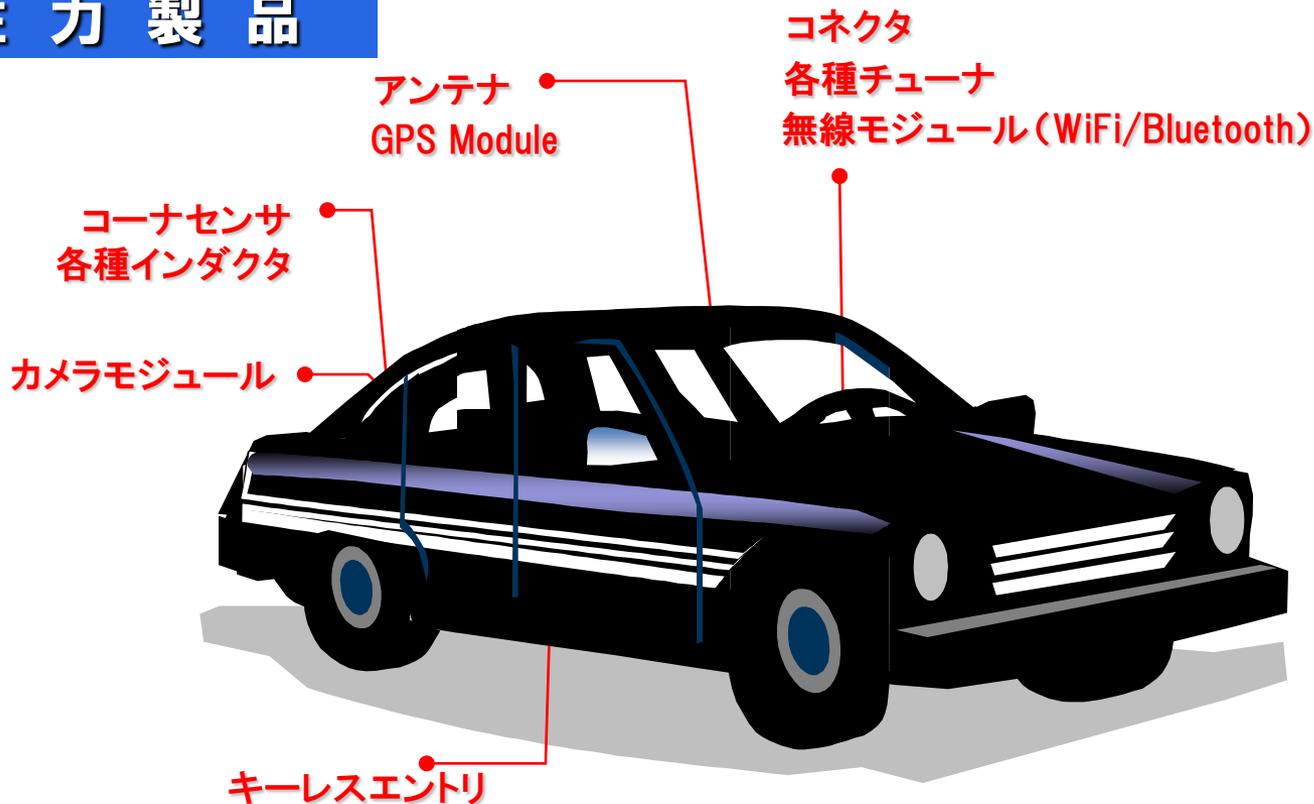


## 自動車ビジネスのグローバル展開

車の電子化が進み、コンシューマエレクトロニクスの必要性拡大

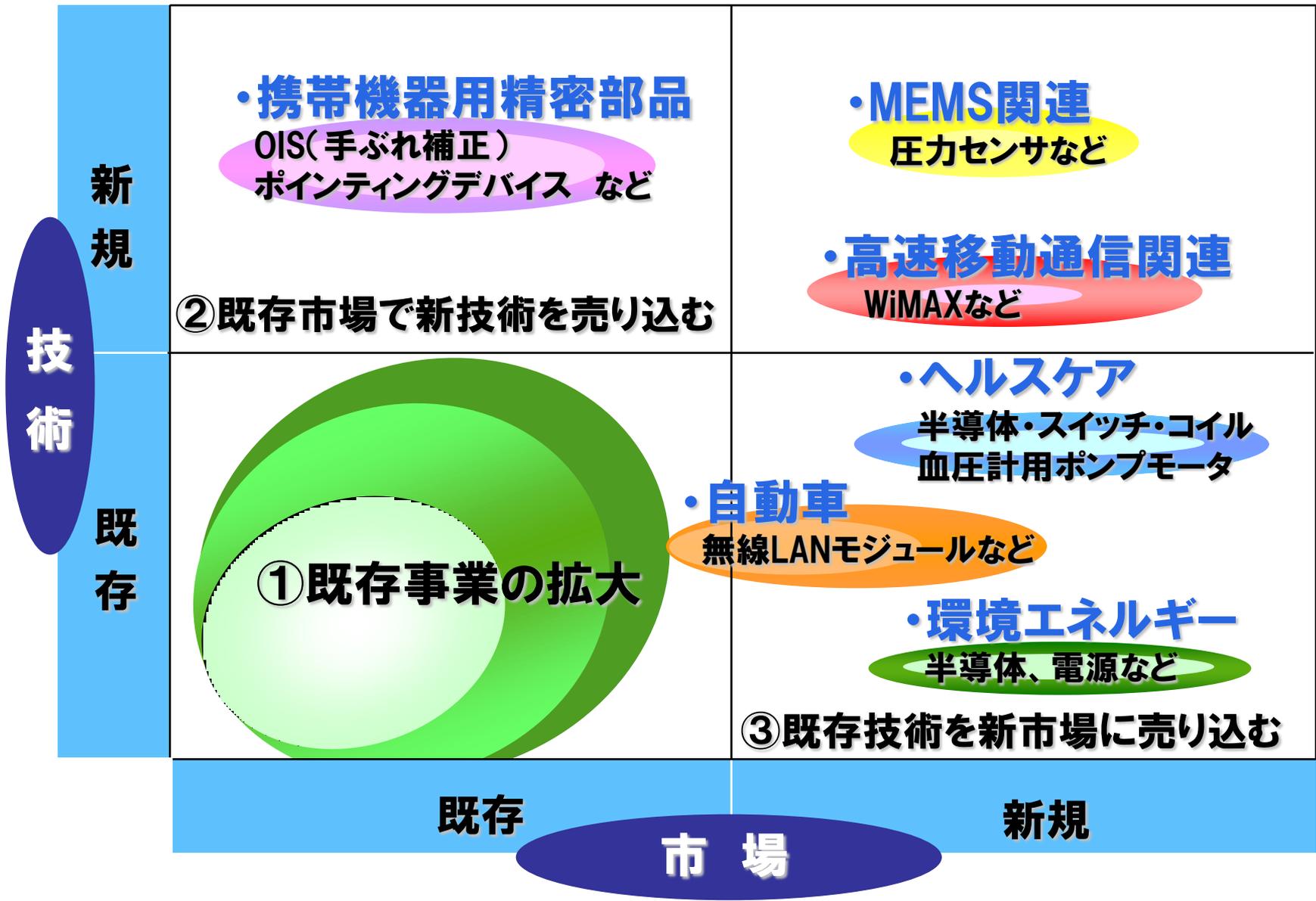
※高周波技術を駆使した製品開発で差別化

### 注力製品





# 4. 事業拡大の方向性 (3) マトリックス図

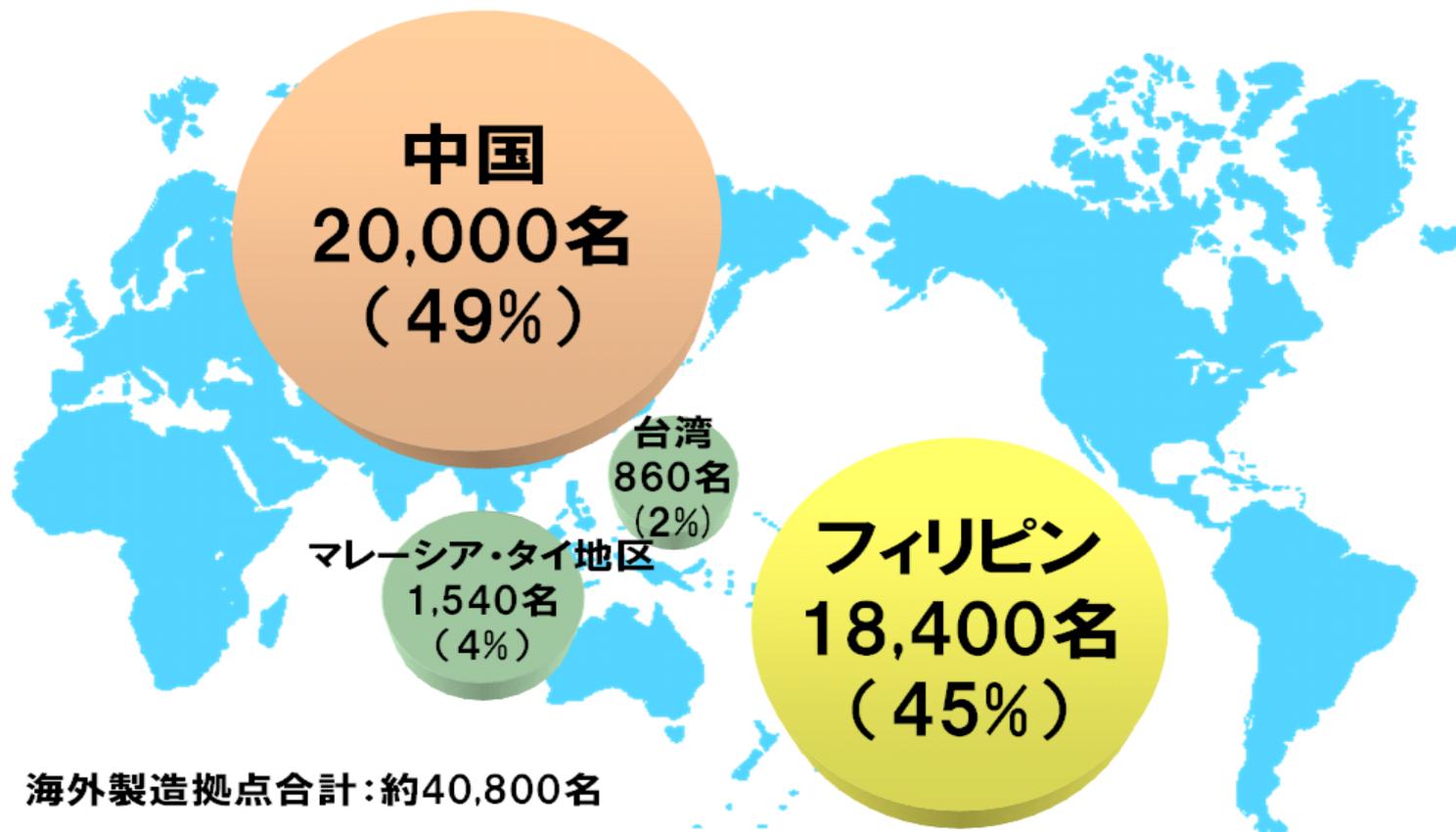




## 5. 生産体制

- フィリピン工場 … 小型精密製品、汎用製品中心の生産
- 中国工場 … 中国市場向け製品、カスタム製品中心の生産

### 海外製造拠点地域別人員数

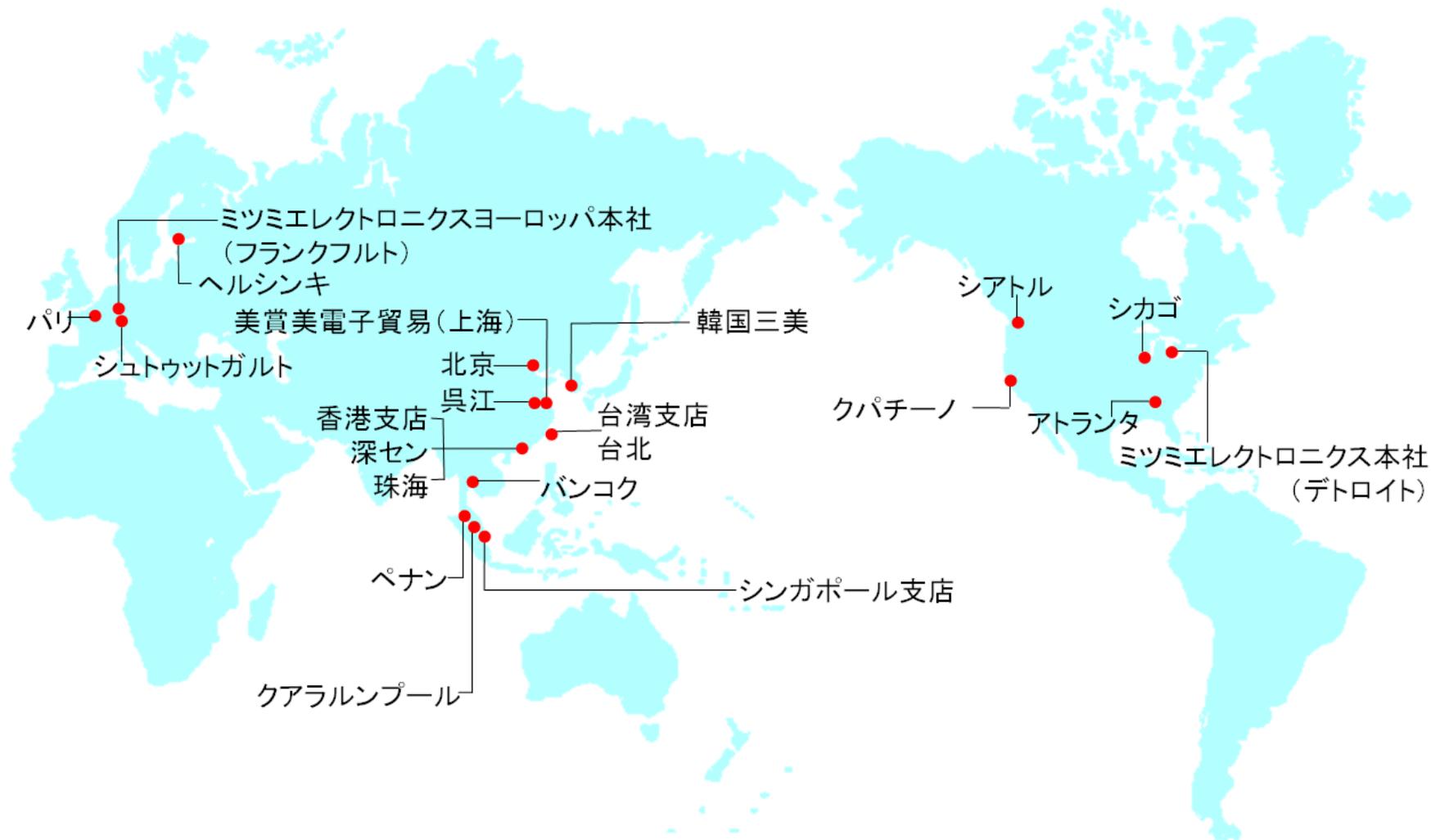


2010年9月末



## 6. 販売体制 (1) グローバル販売体制

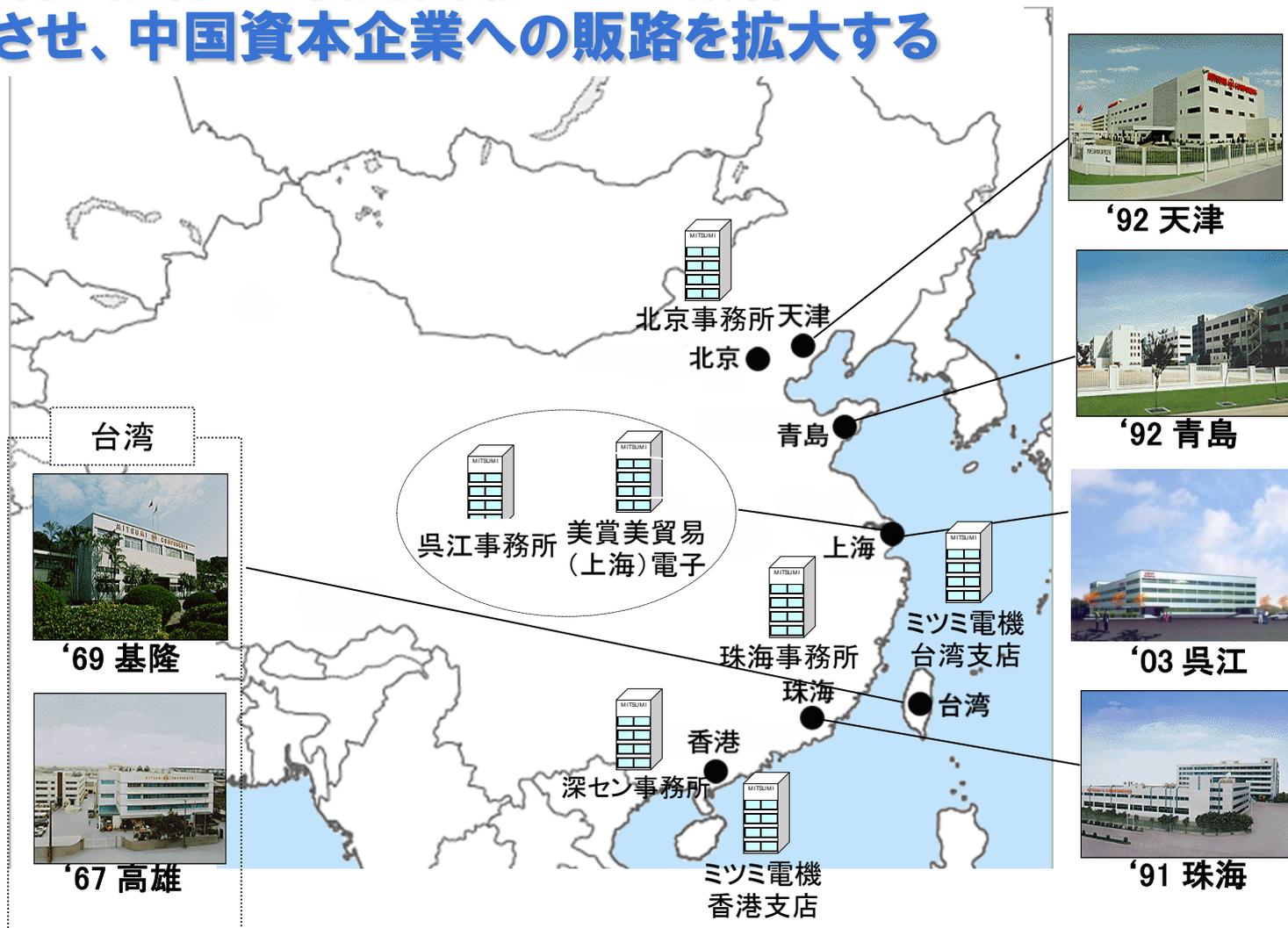
顧客密着型営業により、世界の市場ニーズを掘り起こす。





# 6. 販売体制 (2) 中華圏販売機能の強化

## 販売体制を強化し、製造拠点からの顧客サポートを充実させ、中国資本企業への販路を拡大する





## IRに関する問い合わせ先

**ミツミ電機株式会社**  
**総務部 広報グループ**  
**TEL:042-310-5224**  
**FAX:042-310-5168**  
**MAIL:prwmaster@mitsumi.co.jp**